

いのち輝く

川之江南中学校長だより 2024.12.17

文化祭・合唱コンクールの輝き

12月8日（日曜日）の文化祭には多くの保護者地域の方のご参加をいただきありがとうございました。午後の地域ふれあい講座も合わせて1日にわたって川南生の活動を見ていただくことができうれしく思います。

合唱コンクールでは、すばらしい歌声が体育館に響き渡りました。各学年各学級それぞれに本番に向けて、音楽の時間だけでなく設定された合唱練習の時間や、クラスによっては朝の会や帰りの会等の隙間時間を使っての練習を重ねて来ました。合唱を考えて学級編成をしているわけではないので、到達点に差があっても当然だと思いますが、合唱コンクールを目指すその過程でどの学級も一生懸命取り組んできたことこそがすばらしいと思います。そんな中で、変声期を経て1年生よりも2年生、2年生よりも3年生と、合唱のレベルが上がっていったことは川之江南中学校の本当にすばらしい伝統だと感じました。仕上げの3年生の圧巻の合唱はどのクラスも甲乙付けがたく採点者泣かせでした。私自身は、これまで採点もありますので音程やバランスが気になって曲に入り込んでしまう経験はあまりなかったのですが、どのクラスも特に自由曲は曲に引き込まれて、思わず感動で目頭が熱くなってしまいました。私がこれまでに聞いた合唱コンクールの中で4クラスとも過去最高を上回っていたと感じました。見に来てくださっていた小学校の校長先生も川南生のすばらしい歌声に驚き感動し、順番を決めるのは難しかったでしょうと同様の感想を持たれていました。発表の前に声出しで3年生は「ふるさと」を学年合唱しましたが、指揮の阿河先生が1番で止めるはずのところを続けてしまって2番まで歌うことになりましたが、あの迫力のある体育館いっぱい響くすばらしい学年合唱を、保護者や地域の方に2番まで聞いていただけたのは、かえって良かったのではないかと感じました。

演奏が始まって一気に引き込まれた吹奏楽部の演奏、9月の発表会からさらに上手になっていた演劇部の演技、各自自分の個性を存分に表現していた美術部、読書文芸部の作品展示など、文化祭の名にふさわしいそれぞれの発表だったと思います。

そして、生徒会企画では、映像も駆使して皆を楽しませながら最後は「ハピネス」の大合唱で締めくくってくれました。全校が本当に一つになった、なかなか味わうことのできない瞬間だったと思います。ビデオ編集の巧みさや、隙のない計算された演出など、レベルの高さにびっくりしました。現生徒会役員の実力発揮でした。全体の進行と共にありがとうございました。

2年生、1年生は、このすばらしい川之江南中学校の伝統を力強く引き継いでくれるものと期待しています。

午後の地域ふれあい講座では、地域で様々な方面で活躍されている方、川之江高校、新居浜高専の先生や学生の方、保護者ボランティアなどの多くのご支援をいただいて、20グループの講座を開設、実施いただき、生徒も普段できない貴重な体験活動を行うことができました。ご協力本当にありがとうございました。

川南生がいつもにも増してきらきら輝いた1日でした。

